

宇宙がつなぐ、北海道と途上国の絆

途上国行政官が北海道の産官学による宇宙関連事業を視察

9月11日（水）北海道大樹町

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）機関として開発途上国に対する国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、9月11日（水）・12日（木）、JICAの留学プログラムを利用し、本邦大学で宇宙技術を研究中のベトナム、タイ、フィリピン、ルワンダ政府機関人材6名を北海道・大樹町と札幌市へ招聘し、北海道の産官学が推進する宇宙関連事業を視察するとともに、関係者との意見交換を行います。

具体的には、大樹町役場と民間企業が二人三脚で取り組む「宇宙のまち大樹町」の歩み、宇宙産業基地構想を具現化した北海道スペースポートの現場、北海道大学発のスタートアップ企業の取り組みや、同大学による宇宙関連研究などを紹介します。これにより今後各国政府で宇宙関連事業をリードする中核人材と、北海道の産学官関係者の連携やネットワークが強化されることが期待されます。

近年、開発途上国も宇宙機関を発足させるなど宇宙事業への参入を進めており、激化する競争の中で日本が宇宙空間利用にかかる研究や利用を進めるには、各国人材との連携強化が不可欠です。JICAでは、2021年より、開発途上国の宇宙開発関連人材の育成や、共創によるネットワーク構築を目的に、「宇宙国際頭脳循環プログラム」を実施しています。現在、このプログラムの下、各国政府で宇宙関連事業に従事する中核人材（5ヶ国から10人）が、日本の大学院修士・博士課程に留学中であり、今回の視察はこのうち6名の留学生が北海道を訪問するものです。

当日は、講義や視察の様子に加え、宇宙分野における日本との共創への期待などについて開発途上国からの留学生へのインタビューのアレンジも可能です。是非取材をご検討ください。

<取材可能な日程>

日付	時刻	プログラム内容	形態	場所
9月11日 (水)	10:50-11:10	北海道スペースポート SORA 視察	視察	北海道スペースポート SORA(大樹町)
	11:10-11:20	取材(研修員、指導教員、JICA職員)	取材	同上(野外)

- ・視察と講義は英語と日本語で行われますが、通訳が配置されます。
- ・ご移動は各自でお願いします。

<取材申込方法>

取材をご希望の方は、右の QR コードまたは下記の URL から申込フォームに記入し、9月9日(月)17:00までに送信してください。集合場所、時間などの詳細はお申込の方に追ってご案内します。

<https://forms.office.com/r/jjgKGQndid>

宇宙でつなぐ北海道大樹町と途上国の絆
途上国行政官が官民一体の北海道スペースポートから地方創生事例を



【本件に関する問い合わせ先】

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室 (宇宙班) 安藤
TEL : 080-7145-3869
e-mail: Ando.Gaijiro@jica.go.jp